

【文学部 史学科】

## 論述試験

解答例(解答のポイント)

※公開する解答例には、別解がある場合があります。

### 問1

論点1あるいは2について、批判的考察ができていること。

論点1：歴史とは、過去を現在のために翻訳する行為である。

中世ヨーロッパの王に「政策」policy という語を当てはめると、状況が異なる過去に現在の語義概念を投影することになるように、過去を現在の言葉で安易に翻訳する行為は、アナクロニズムに陥る恐れがある。

論点2：異文化間の翻訳には、「交渉」という行為が介在する。

異文化間の翻訳行為は文化的「交渉」によるものである。事柄を正確に訳すよりは意味を省略することもある。そこには複雑な文化的「交渉」と「再交渉」がある。したがって、異文化間の翻訳には「交渉を経た翻訳」negotiated translation というプロセスが生じる。歴史上の事例として、イエズス会士マテオ・リッチは、中国でキリスト教布教を行う際に、大胆な文化的「交渉」によってキリスト教の「神」概念を翻訳した。しかし、その翻訳はローマ教会では評価されず、本来のキリスト教の「神」概念を放棄したとすらみなされた。このように異言語・異文化間の「翻訳」には、受け手にとっては文化的資産となる反面、送り手にとっては本来の意味の喪失に等しく、両義性をはらんでいる。

### 問2

- ・レポートの主題、調査内容、調査の結果(結論)が具体的に記されていること。
- ・レポートの作成を踏まえた所感と今後の展望が具体的に記されていること。

### 問3

- ・ 研究予定の主題が具体的に記されていること
- ・ 予定している研究の方法が具体的に記されていること。